

ふるさと三島大賞について

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第24回の今日は、「ふるさと三島大賞」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： ふるさと三島大賞は、市長の強い思いがあり、昨年度新たに創設した賞と伺いましたが どのような思いで創設されたのですか。

市長： 近年、無縁社会などと言われ、近所づきあいが減り、地域のきずながなくなりつつあると言われております。三島市内では、そのような箇所は少ないと思っておりますが、将来を見通すと決して他人事（ひとごと）ではないと思っております。

これまで、三島市では「地域コミュニティ連絡会」や「居場所づくり」、「子どもは地域の宝事業」等 地域の中で人と人が関わりを持てるような施策に積極的に取り組んでまいり、これには、自治会・町内会をはじめ、多くの団体のリーダーの皆さんが参画してくれております。

私は、シビックプライドを持って、
… シビックプライドとは、自分たちの住む地域をよくするために自分自身が関わっているという市民の誇りや自負のことですが …、
このシビックプライドを持って活動している人や団体が増えれば増えるほど、魅力あふれる地域が形成され、安全・安心、元気で明るく暮らせる三島市になると思っております。また、人と人のつながりができ、きずなも深まり、大きな災害があった時にも助けあうことができると思っております。

現在も多くの団体が継続的に様々な活動をしております。魅力あふれる団体を表彰することにより、活動をしている団体の励みになれば、そして受賞団体の活動を知らない人達に対しても 素晴らしい団体があることを知ってもらい、自ら関わりたいと思うきっかけになればと思い「ふるさと三島大賞」を創設いたしました。

アナ： 市長の熱い思いがよくわかりました。昨年度は、どのくらいの応募があり、どのような団体が賞を受賞されたのでしょうか。

市長： 昨年度は、周知期間が短かったのですが、29団体の応募がございました。

「三島農兵節普及会」が大賞を
「三島市ふるさとガイドの会」、「三島警察署管内防犯サポーター」が優秀賞を
「てんとうむし文庫」、「徳倉盆踊り大会実行委員会」、「三島おやこ劇場」が奨励賞を受賞しました。

アナ： 大賞を受賞した「三島農兵節普及会」は、毎年三嶋大祭りで踊りを披露し、祭りを盛り上げていますよね。ちょっと調べてみましたら、1950年代より三島農兵節保存会があり、昭和35年から夏祭りに参加しているとのこと。長い歴史を感じ

ます。

さて、ここからは、本年度実施される「ふるさと三島大賞」についてお聞きしたいと思います。昨年受賞された団体をみますと活動を長くされている団体が多いような気がします。ここ数年から活動を始めた団体も応募できるのでしょうか。

市長： もちろんできます。「三島への情熱や思いをもって 地域において3年以上活動しており、今後も継続していく団体」を対象としています。

近年活動を始めたばかりの団体でも 素晴らしい活動をされている団体もありますので、応募していただければと思います。

昨年度、受賞した団体には、ご遠慮いただきたいのですが、惜しくも受賞に該当とならなかった団体も 再度応募いただければと思います。素晴らしい団体が多かったのですが、賞に限りがあり表彰できない団体が数多くありました。

また、応募していない団体にも、この「ふるさと三島大賞」を知っていただき、応募していただければ幸いです。

アナ： 多くの方に応募していただきたいですね。応募期間を教えてください。

市長： 10月15日（火）が募集締め切りとなっており、11月21日（木）午後生涯学習センター3階講義室で表彰式を行う予定です。

アナ： 10月15日（火）が締め切りということで、今日、「ふるさと三島大賞」を知った方も応募期間がまだ1ヶ月ありますので、応募を考えてみてはいかがでしょうか。詳しくは、ホームページもしくは公共施設にチラシがあるとのことですので、是非ご覧になって下さい。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。